

目標達成計画

作成日: 平成 25年 6月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	介護計画書について、よりご本人の現在にあったものが必要であり、それは日々のケアの指針である。その方にとってどういう意味のあるケアであるか理解し、行った結果どうだったのかを振り返りやすい仕組みが必要。	介護計画書と経過記録の書き方を見直すことで、職員はその方の生活の課題や目標を意識して、日々の支援にかかわることができるようにする。入居者様には、より望まれる生活に近づくことになり、職員にとっては、仕事のやりがいや成長を感じられるようにしたい。	介護計画での支援内容にわかりやすく番号を振り、その支援をした時に、ご本人が良い気分であったのか、そうでなかったのか、後から振り返りやすい記録方法にする。そのことで、ご本人の現在と計画とのずれをなくしたり、ご本人の意欲の向上や笑顔を増やすことにつなげたい。	12ヶ月
2	26	モニタリングの頻度を上げ、より現在のご本人にあった計画書を作る必要がある。職員とご家族の思いにずれがないように、ご家族も一緒に生活を支えていると感じられるように、より具体的な意見が伺えるようにしたい。	モニタリングの頻度を6か月で行っているが、3か月とし、より現在の本人状況にあったケアが行われるようにしていきたい。ご家族も介護計画書作成に、ご本人の生活作りに参加して頂けるように、より具体的な意見を伺える仕組みを作る。	介護計画書の短期目標の期間を3か月、長期目標を6か月とし、モニタリング頻度を3か月に一回とする。プランの更新時期など、ご家族のご希望を伺っているが、より具体的なご意見が頂きやすいように、「環境面」、「衛生面」、「健康面」・・・などいくつかの項目に沿って質問できるシートを作成する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議での参加家族を増やしたい。	家族様がもっと参加しやすい、参加しようと思える会となり、家族様同志、思いや意見を出し合える会となる。	介護計画作成などで、ご家族の関わりを増やし、運営推進会議とは何かを改めてお伝えし、協力を仰ぐ。行事と組み合わせて参加しやすい状況を作る。参加できなくても文書か何かでご意見をいただけるようにする。隔回ごとに、テーマごとに曜日を変えてみる。	12ヶ月
4	8	権利擁護について、制度などを研修により理解し、入居者様の権利を守る支援も気づくことができるようにしたい。	成年後見制度について、研修会を行い、実際の事例を知ってもらうなど、自分たちも権利を守って差し上げる一員であることを感じてもらおう。	年に一回は、成年後見制度などの権利擁護について、研修会を行う。	12ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。